

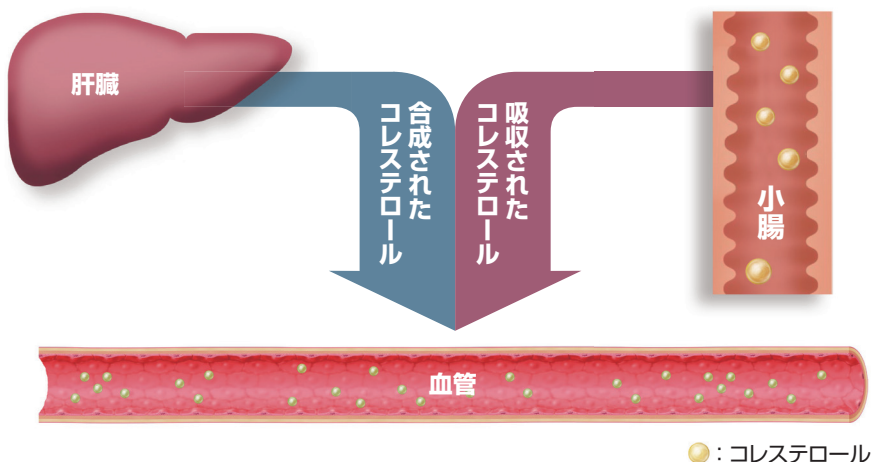
アトゼット®配合錠 を服用される方へ

アトゼット®配合錠とは

- アトゼット®配合錠はHMG-CoA還元酵素阻害剤・アトルバスタチンと、小腸コレステロールトランスポーター阻害剤・エゼチミブの配合錠です。
- コレステロールには、肝臓で合成されるものと、小腸から吸収されるものがありますが(図)、アトルバスタチンは肝臓で合成されるコレステロールを抑え、エゼチミブは小腸から吸収されるコレステロールを抑えます。

**アトゼット®配合錠は、この2つの作用で
血液中のコレステロールを低下させるお薬です。**

図. コレステロールの合成と吸収



アトーゼット®配合錠服用時の注意

■ 服用方法

- アトーゼット®配合錠は、1日1回1錠、食後に服用してください。
- 飲み忘れた場合は、気がついたとき、寝る前までにできるだけ早く1回分を飲んでください。2回分を一度に飲んではいけません。
- 誤って多く飲み、異常を感じた場合は、すぐに医師または薬剤師にご相談ください。
- グレープフルーツジュースと一緒に飲むと、作用が強くなる場合があります。一緒に飲まないようにしてください。

アトーゼット®配合錠服用時の注意

- ご自身の判断で、薬の量を変えたり服用を中止したりせずに、必ず医師または薬剤師にご相談ください。
- 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。

■ 副作用について

- アトーゼット®配合錠の服用によって、アトルバスタチンとエゼチミブ両剤の副作用が出る場合があります。
主な副作用として腹部膨満、便秘、胃炎などが報告されています。
- 重大な副作用として、ごくまれに^{おうもんきんゆうかいしょう}横紋筋融解症※が生じることがあります。次のような症状が出た場合は、速やかに医師に相談してください。

**筋肉の痛み、手足のこわばり、
赤褐色の尿**

※筋肉を形成する細胞が壊死・融解して、成分が血液中に溶け出す病気。
放置すると腎不全に至る場合もあります。

アトーゼット®配合錠服用時の注意

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- 筋肉の痛み、手足のこわばり、赤褐色尿 [横紋筋融解症、ミオパチー、免疫介在性壊死性ミオパチー]
- 吐き気・嘔吐、からだがだるい、皮膚や白目が黄色くなる [劇症肝炎、肝炎、肝機能障害、黄疸]
- 意識がうすれる、発疹、じんましん、発熱、息苦しい、さむけ、ふらつき、かゆみ、判断力の低下、考えがまとまらない、口唇周囲のはれ、汗をかく [過敏症]
- せき、血の混じった痰、息苦しい、息切れ、発熱 [間質性肺疾患]
- のどの渇き、尿の量が増える、からだがだるい [高血糖、糖尿病]
- のどの痛み、動悸・息切れ、鼻血・歯ぐき・皮下の出血 [無顆粒球症、汎血球減少症、血小板減少症]
- 発熱、食欲不振、赤い発疹 [中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑]
- まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感、食べ物が飲み込みにくい [重症筋無力症]
- 他にも、アトーゼット®配合錠を服用していて体調がよくないと感じられた際は、医師または薬剤師にご相談ください。

アトーゼット®配合錠は2種類

- アトーゼット®配合錠LD

エゼチミブ10mgとアトルバスタチン10mgを含有

アトーゼット®
配合錠LD
【実物大】



- アトーゼット®配合錠HD

エゼチミブ10mgとアトルバスタチン20mgを含有

アトーゼット®
配合錠HD
【実物大】



ご不明な点がございましたら、医師または薬剤師にご相談ください。

医療機関名

オルガノン株式会社

2023年12月作成
RAZ23PA0022